



加古川市立山手中学校

学校だより

令和7年5月16日（不定期発行）

自主創造
親和協調
感恩奉仕

生徒のみなさんへ

「人生が夢をつくるんじゃない。
夢が人生をつくるんだ」



こちらは大谷翔平選手が高校生の時に「人生の目標シート」に書いた言葉です。みなさんは“夢”を持っていますか？「将来の職業」「なりたい人間像」「やってみたいこと」「行ってみたい場所」……近い将来だったり、もっと先の将来だったり、“夢”にもいろいろあると思いますが、今みなさんの心に描いている“夢”は何でしょうか？そして、それを叶えるためには何が必要か、考えてみたことはありますか？

アメリカ大リーグを舞台に活躍している大谷選手は、前人未踏（ぜんじん みとう）（誰も成し遂げたことのないこと）の記録を作り、いまや日本やアジアだけでなく、世界中の憧れの的で、そんな彼の言葉や考え方からは学ぶところがたくさんあります。

「先入観は可能を不可能にする」

「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事」

「僕は無駄な試合や無駄な練習というのはないと思っています。頑張っても何年続けても結果が出ないという練習の仕方というのは確実にあると思うんですが、それを失敗だと気付いて違うことに取り組めば、そこで1個『発見』があって、それがどんどん成功につながっていくのかなと思っています」

“夢”に向かうということは、あきらめずに前に進むということ。失敗しても決して周りや環境のせいにせず、継続したり、原因を究明して自分のやり方を変えたりしながら次に向かうこと。「どうせ無理」という先入観を持たず、「失敗したからもうやめる」とあきらめるのでもなく、とにかく前向きにとらえて頑張ってみる。これは成功している人に共通している姿勢です。

今はまだ、具体的なビジョンがなくてもいい。今の段階で「これ」と決まっていることも素晴らしいけれど、むしろ、あれもやりたい、これもやってみたくと貪欲（どんよく）（新たな知識や技能を非常に熱心にとり入れようとするさま）でい続けてほしい。そのためにまずは「今できること」「与えられていること」を精一杯やってみて、可能性や選択肢をどんどん広げたり増やしたりしていったほしいと、私は個人的に思っています。大谷選手になる必要はありませんが、自分の“夢”は大切にしてください。

『夢や目標がみなさん自身の人生をつくる』のだから。

